

入学式を行いました

4月9日(木)、新型コロナウイルス感染症対策を施す中で、45名の新1年生を迎え、入学式を実施しました。参加者は、1年生とその保護者、お世話係の6年生数名そして教職員という限られた人数での入学式でした。

ただ、プラスに考えると、1年生と保護者の座席の間隔はいつも以上に近く、間に在校生がいなかったため写真やビデオに納めるにはよい環境ではなかったかと思えます。しかし、1年生はもとより、保護者、教職員のほとんどがマスクを着用したまま臨んだ入学式はある意味異様な光景でもありました。

しかし、教室に移ると、教科書、ランドセルカバー、黄色い帽子など多くの入学祝い品を受け取り、担任の先生の名前を覚えたり、元気よく返事をしたりと、1年生の笑顔が教室のあちらこちらではじける光景は、よくある入学式の心温まる一コマでした。

当日、長洲小おやじの会より、3名のお父さんが自主的に来校され、看板前で撮る家族の写真撮影のお手伝いをしていただきました。ありがとうございますよね、こんな心配りができる学校の応援団の存在は。私は、新入生を迎えられた喜びと、おやじの会の方々の温かな心遣いにとても爽やかな気持ちにさせていただきました。ありがとうございました。

この日をもちまして、令和2年度長洲小学校児童数220名でのスタートとなりました。



長洲小は、コミュニティ・スクールとして動いています!!

コミュニティ・スクール(以下、CS)とは、学校が、保護者や地域住民の目標を共有し、地域と一緒に子供の豊かな育成を図っていくとする法に基づいた仕組みのことで、国の施策として全ての公立学校をこの仕組みにしていく流れがあります。

本校もこれを受け、昨年度からCSの在り方を検討する「学校運営協議会」を立ち上げ、(右表;構成員)本年度第1回目を4月14日に行い、学校教育目標や経営方針を承認していただきました。今後、年5回の会議に子供、学校、保護者、地域、行政の五者連携によりCS長洲小としてよりアクティブな学校運営を目指します。

会長	草野 哲也	(本校保護者)	※敬称略
副会長	大塩 武士	(おやじの会)	
委員	北野 誠司	(的ばかい保存会)	
//	増村 公子	(放課後子ども教室)	
//	伊藤 壽賀子	(まほうの小箱;読み聞かせ)	
//	松本 昇	(前教育長・前校長)	
//	藤村 成美	(しおかぜ子ども園副園長)	
//	浦野 里美	(主任児童委員)	
//	前田 升	(下東区長)	
//	岩切 久美子	(PTA 副会長)	

オブザーバー 松永 光親 (生涯学習課)

ご家庭の皆様、地域の皆様、子供達をよろしくお願ひします

寝ても覚めても新型コロナウイルス感染症の報道ばかりですが、命に関わる情報なので、やはり無視はできず、ニュースばかり見てしまいます。この問題の最も難しいのは、終息時期が見えないこと、そして予防のためのワクチンや治療方法が未確定であることです。

学校再開については、9月新学期制やらオンライン授業など、様々な情報や選択肢が紹介され、およそ三ヶ月におよぶ休校で、夏休みでさえ、休みではなくなる?との可能性も0ではなくなってきています。休業で授業ができない焦りでいっぱいではありますが、それ以上に子供達の心身の状況、生活リズムを心配しています。校区内をみると外で遊んでいる子供はほとんど見かけないのはある意味安心するのですが、毎日引きこもった状態でどう過ごしているかと思うとそれはそれで心配になります。こういう状況でのストレス解消も難しいですが、子供達のそんな心境を察して接していただければ幸いです。よろしくお願ひします。